

一般乗合旅客自動車運送事業者における同時導入は国内初*

大型EV路線バスとオンサイトPPAによる太陽光発電を導入します

環境に優しく災害に強い 100%カーボンニュートラルの営業所運営の実現に向けて！

西武バス株式会社（本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長：塚田正敏、以下「西武バス」）は、関西電力株式会社（本店：大阪府大阪市、取締役代表執行役社長：森望、以下「関西電力」）の支援のもと、路線バスに大型電気バス（Electric Vehicle 以下「EVバス」）を2両導入し、2023年2月27日（月）より、西武バス新座営業所にて「100%電気で走る大型路線バス」の運行を開始します。あわせて、関西電力により新座営業所施設の屋根に太陽光パネルを設置し、発電される電気を同営業所施設に供給して自家消費するオンサイトPPAを導入します。

一般乗合旅客自動車運送事業者においてEVバスとオンサイトPPAをあわせて導入する取り組みは、国内で初めての事例となります。（*関西電力調べ）



今回導入するEVバスは、ビーワイディージャパン株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：劉学亮、以下「BYD ジャパン」）が販売するEVバスである「K8」です。営業所敷地内に設置した急速充電器から動力となる電気を充電するEVバスは、**走行中にCO2を排出せず、カーボンニュートラルの実現に大きく寄与**します。

また、オンサイトPPAの導入により、日中においては、バスの運行管理システムの運用から空調・照明まで、同営業所内で使用する電気の一部を再生可能エネルギーでまかなうことが可能となります。加えて、今後非化石証付電力供給の実現を目指しており、実質再生可能エネルギー由来の電力のみを使用することで、100%カーボンニュートラルな営業所運営が実現することになります。

さらに、この取り組みにより、**災害時に停電した場合でも、営業所の運行管理機能が維持されること**でバス運行が継続できるほか、充電されたEVバスを一時避難施設などに派遣して電力供給を行い、**地域住民のライフライン確保だけでなく、地域レジリエンス強化にも大きく貢献**することも可能です。

西武バスでは、かねてより安全・安心を第一として、環境や社会情勢が抱える課題解決に向けた取り組みを推進し、エコドライブの実施や、ハイブリッドバスや燃料電池バス、バイオディーゼルの燃料、リニューアブルディーゼルの燃料の導入などを評価いただきまして、「令和4年度 彩の国埼玉環境大賞¹ 優秀賞」を受賞いたしております。この度のEVバスとオンサイトPPAの導入により、引き続き脱炭素社会の実現に寄与するべく、環境にやさしく、地域と調和できる公共交通機関を目指してまいります。

詳細は別紙のとおりです。

¹ 彩の国埼玉環境大賞は、環境保全に関する意識の醸成及び行動の促進を図るため、個人、県民団体及び事業者において、他の模範となる優れた取組等を表彰するものです。

【別紙】

1、運行概要

- 【運行営業所】 西武バス新座営業所
【運行台数】 一般乗合バス（大型路線バス）2台
【運行時期（予定）】 2023年2月27日（月）～
【主な運行系統（予定）】 [清63] 清瀬駅北口～けやき通り～旭が丘団地

2、EVバスについて

大型EVバス「K8」（読み：ケーエイト）

車長×車幅×車高	10,500mm×2,500mm×3,360mm
ホイールベース	5,500mm
バッテリー容量	287kWh（リン酸鉄リチウムイオンバッテリー）
航続距離（※1）	220km
充電時間	約6時間
充電方式	CHAdeMO
乗車定員	最大81人



※1 乗車率65%、エアコンなしの場合

3、EVバスからの給電、災害時の対応について

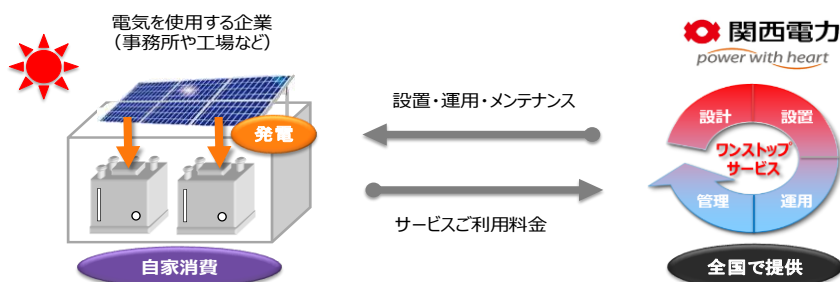


大型EVバス導入に際し、EVバスから電気を取り出す外部給電器を導入します。EVバスから外部給電器を介して、電気を取り出し、様々な用途で電気を使用することが可能です。EVバス1台から取り出せる電気量の目安は287kWhとなります。また、使用例としては以下ようになります。



災害時には、EVバスを一時避難施設などに派遣して、外部給電器を介し電力供給を行い、地域住民のライフラインの確保に寄与することが可能となります。

4、太陽光発電オンサイトPPAについて



オンサイトPPAとは、PPA事業者が所有する太陽光発電設備を、需要家（電気を使用する企業）の敷地や施設に設置し、需要家がPPA事業者から発電した電気を購入して自家消費する契約形態です。

今回導入する関西電力の「太陽光発電オンサイトサービス」では、関西電力がPPA事業者となり、太陽光発電設備の設置から運用・メンテナンスまで、ワンストップで提供しています。

<西武バス株式会社について>

西武バスは、「安全は全ての業務に優先する」の安全方針のもと、西武鉄道沿線を中心に東京都西部、埼玉県南部を事業エリアとする一般乗合バスのほか、高速乗合バスや空港連絡バスを運行し、地域社会を支えているバス事業者です。

前身の東浦自動車から数えて、2022年12月に創業90年を迎えました。これに際し、西武園ゆうえんち駐車場にて、「西武バス90周年大感謝祭」を開催し、約3800人の方にご来場いただきました。10年後の設立100周年を見据え、お客さまと地域社会の皆さまからの期待に応えられますように、安全・安心のバスを提供することが、最大の使命であり存在意義であることを胸に刻み事業を進めてまいります。

<関西電力株式会社について>

関西電力は、70年以上にわたり、電気事業をはじめ、日本社会の発展に寄与してきました。現在は、エネルギー分野にとどまらず、さまざまな社会インフラやサービスを提供し、産業活動や暮らしを支える企業グループとして進化を続けています。2021年には「ゼロカーボンビジョン2050」を策定し、持続可能な社会の実現に向け、『ゼロカーボンエネルギーのリーディングカンパニー』として、発電事業をはじめとする自社の事業活動に伴うCO2排出ゼロに取り組むとともに、お客さまや社会のゼロカーボン化に向けて関西電力グループのリソースを結集して取り組んでまいります。

<ビーワイディージャパン株式会社について>

2005年にBYDの日本法人として設立したBYDジャパンは、EVバスをはじめとする電気自動車事業のほか、ソーラーパネルや産業用の蓄電システムなどの環境エネルギー事業を国内で展開しています。BYDジャパンは、今後も革新的な技術によって地球環境に配慮した製品・サービスを開発し、社会と人々の生活に寄り添った事業を展開してまいります。

● 「西武グループ サステナビリティアクション」

西武グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」として推進しています。特に、事業を通して創造する社会価値として「4領域と12アジェンダ（重要テーマ）」を設定し、積極的に取り組んでいます。

詳細ページ

領域	アジェンダ	貢献するSDGs
安全	安全安心	3 気候変動に具体的な対策を、9 産業と地域づくりの力強い持続可能な開発を実現する、11 持続可能な都市とコミュニティを創出する、16 平和と公正な社会を創出する
環境	温室効果ガス削減 廃棄物削減 水資源の確保 森林や生物保護	6 安全な水と衛生を確保する、7 持続可能なエネルギーを確保する、12 持続可能な消費と生産を実現する、13 気候変動に具体的な対策を、14 持続可能な海洋資源を確保する、15 陸域生態系を保護・回復する
社会	沿線・周辺自治体活性化 ユニバーサルデザイン対応 少子高齢化	3 気候変動に具体的な対策を、4 質の高い雇用を創出する、11 持続可能な都市とコミュニティを創出する、17 パートナーシップを強化する
会社文化	働き方改革 多様な人材雇用 従業員教育・管理 コンプライアンス	3 気候変動に具体的な対策を、5 性別平等を実現する、8 質の高い雇用を創出する、10 人や地域ごとの格差をなくす、16 平和と公正な社会を創出する

<https://www.seibuholdings.co.jp/sustainability/>